

山寺通信

鶏谷山花栄寺だより

今号の記事：

- 煩悩を大切に、仏の命を生きる
- 合同供養墓利用者の募集をします

- 秋の行事予定
- 長女多映の得度式
- 墓地の手すり工事／古いお札

煩悩を大切に、仏の命を生きる

お経の終わりに四つの誓願（四弘誓願）をお唱えします。①生きとし生ける命は数限りないけれど、一つ一つの命のお役に立つよう努めます。②煩悩は尽きることなく次から次へと湧き出てきますが、誓ってそれを断じてまいります。③お釈迦様の説かれた教えは量りきれないほど沢山ありますが、誓って学んでまいります。④仏の生き方はこの上ない教えですので、誓って実践してまいります。（原文：衆生無辺誓願度 煩悩無尽誓願断 法門無量誓願学 仏道無上誓願成）

いずれもお誓いし実践してゆくのが難しい徳目ですが、以前は特に二つ目の煩悩のところにくると、つかえそうになりました。次から次へと湧き出てくる自分の煩悩を、断ち切ることなどできはしない。だが誓願としてお唱えしているのは欺瞞なのではないか。そんな思いがあって、素直にお唱えできなかつたのです。

ところが、松原泰道老師の著書を読んでこの壁を打ち抜いて下さる教えに巡り合いました。

「滅という言葉の本来の意味は調べるとということだ」と書かれてあったのです。断とか滅とか

いうと激しく断ち切るニュアンスが感じられますが、そうではない、ととのえ、調和をもたらし、暴走を防ぐという意味に受け取ってはどうか、と提唱されていました。そして、「煩悩を大切にしましょう」と付け加えておられるのを読んだときに、非常な感銘を受けました。

自分は煩悩を減らすこと断ち切ることにばかり気を取られ、その煩悩を正しく導き人生に役に立つエネルギーにすることができるのだということに気づかずいたのです。老師はお言葉を継ぎます。「愛欲があればこそ子孫が繁栄するのです。怒りがあるから発奮し、社会の悪を是正することができるのです。わが身の愚かさを歎くことにより教えを求める心が起きるのです。それができるのは、煩悩をよく調べ、煩悩を正しく飼育しようとの念があるからです。」その念こそ仏様の心に他なりません。

このお示しをいただいてから、非常に心が軽くなりました。今まで敵対していた煩悩が、急に穏やかな姿となって親しい友人のように思えてきたのです。そうだ、自分が求めていた教えはこれだったのだ。四弘誓願文の説くところはこれだったのだ、と得心いたしました。

今でも、日々に様々な煩悩は起こってまいります。自分や他者に対する不満や怒りもあります。物欲が頭をもたげてくることもあります。怠け心に負けてしまうこともあります。しかしまさにその時に一歩退いて手を合わせることでできたら、即座に心は穏やかさを取り戻してまいります。「気づかせてもらったよ、ありがとう」と自分のマイナスの想念に感謝するとき、その想念が転じて仏様の光を放つのを、これまでに幾度も見てまいりました。

もし自分自身を持って余すことがありましたならば、是非お勧めしたいものです。

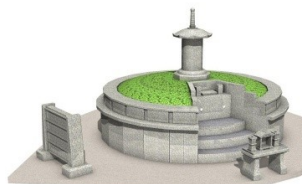


自分の影に気づく瞬間

合同供養墓利用者の募集をします

昨年来合同供養墓の建築にむけて検討を重ねてまいりましたが、このたび利用者募集を開始します。

利用を希望する方は申込用紙に記入し、お寺にお届けください。用紙は全檀家さんに配布いたします。今ご利用にならない方も、お知り合いに利用を希望する方がいらっしゃいましたら分けて差し上げてくださいますようお願いいたします。



第一期工事完成イメージ図

秋の行事予定

秋季彼岸会 9月23日(水・秋分の日)

法要前の催しとして「詩歌の会」の皆さんによる詩の朗読を企画いたしました。バイオリンとピアノの音色に合わせて吉野秀雄、萩原朔太郎、中村千栄子、まきたかしの詩を朗読するほか、今回は良寛様と貞心尼の和歌集『蓮の露』から選び出した歌を数首ご披露いたします。おたのしみに。

大般若法要 10月12日(月・体育の日)

新潟市秋葉区から観音寺住職阿部正機老師をお招きして「人身は得ること難し」をテーマにお話しいただいた後、大般若法要を厳修いたします。13時30分より法話、15時より法要。

親睦旅行 10月19日(月)～20日(火)

大本山總持寺祖院と永光寺を参拝します。いずれも太祖瑩山禪師がお開きになった寺院で、約52キロほど離れた場所に建ちます。本年650回忌を迎える二祖峨山禪師は、永光寺の朝課を終えると山道を駆け抜けて總持寺を往来された行者でした。大遠忌ご正当の日に合わせて、禪師往来の峨山道をめざします。申し込みは9月末日まで。

開山忌 11月2日(月)

御開山・曇芳文誉大和尚様の祥月命日の法要です。493回忌の本年も、昨年同様に丁寧に勤めてまいります。

長女多映の得度式

10月12日の大般若法要に合わせて、多映の得度式を行います。得度式とは正式な作法によって僧侶となる儀式です。お釈迦様の教えを信じ行じてゆく生き方の第一歩といえます。当日は午前11時から式を行います。

墓地の手すり工事

墓地階段の古い手すりは支柱の根元がさびてぐらぐらになっていたため撤去し、新しく手すりを敷設しました。冬期間は取り外します。



古いお札(ふだ)

本堂にお札入れを設置いたしますので、古いお札をいれてください。お寺でご供養させていただきます。